

オニ話

いじめられれを耐えた後新しい
山合この森へ

大きな荷物は何もついでに新しい地主の方に
運んで！もらっていったのだから！残りの荷物は！
自転車の前の籠に！のせて片道三時間位か
けて走り！豊田市に入り！それからが大変
なことが次から次と私を！

一度つれいさ人もらった！だけだ！どうし
人も！森に入っている入口がわからぬ！

もう！暗くなってきた！このままわから
なかったら！私自身が！道に迷っ！まう！
幸いわいに身内が市内に住んでいるから！
丸こに泊めん！やらをが！

「おまへさ！私ですが！
「は！い！なんだ！おまえが！また急に！
どがんとしたと！」

うん！実は！新しい森を貸す人もらったが

ら、私が寝泊りの出来る部屋を作りに来たが
場所が見つからなかつたので、泊め人もらな
しに来た！

私の上の上の上の姉だあり、私に対し
人は言葉が良くない、その姉が、

「一寸待ん、おやじに聴い入くるから、……
駄目ばい、おやじ、の機嫌が悪いから泊まれ
ない！」

なんぼ、血の雫ながりがないと、いっただ
う、ここまで冷めたくするが！

私もこのおやじは、好きにはなれないのであ
る！

私は悔しく、涙が止まらなかつた！

だが、私も急に訪ねたからナ、……か、ナ
、この夜は、積り下り寝る事にした！

光、入次、回り朝は、明かるとなる、す
ぐに、公園に設置してある水道水、顔を、サ
ッサッと洗って、積り下りを後に、人、自転車
を走らせに行く、

一時内位は塚が、たぐあう、

オーッ！ここだ！やっと見つけた！
私の心は安心感で！ホット！ホット気分
だ。た。

私は細い山道を上がりながら、昨日の悔
い思いを！つくつくしまつた！私の心は甘え
に反省！さあッ！心切り変えのスイッチ
を入れん！「やる気」のスイッチを押すぞ。
まずは！私が寝泊りが！お来る^カ仮の小屋を
建てる場所を探がさなければいかんナ！

ここにするか！山だから平らな場所は！え
うあるまい！北の斜面にあり！少々平らにし
たいのだが！スコツクもない！

斜面を！うまく利用して作れば良いのだ

！
大自然の森は！人間に考える力を与えん！
知恵をよさるせる！物事をつくる原点の地にな
ることには間違いない。

これからの社会は！あまりに！便利過ぎん
！スイッチ！一ツバかたづけん！まう！
！
神様が与えん下さった！人間としんの生を方

が失われ入ってしまう。これだ。まさに心に
悪魔が入りこんだ。人間が作り出す。
地球の破滅につながる。いっんでも過言は
はない。

「大人よ。これ以上便利な物を考えよさない
でトされ。人間を駄目にするのも大人。
悪い方行に導くのも大人であるだ。
森の力を正しい人づくりの体験の森にしん
いくだ。と私は心の中心語っ人。気が
迷じりう。をワクワクさせ入る。

さあ。汝は。ビニールテントをたてる柱と
なる竹を見つけ入。こたつといかんナ。

「仙人予談」

私は森の中での木。は切らない事にし入る
。エッ。どうしんか。

うん。これはナツ。木は生き物の命だから
である。木が。なければ地球も生き入いけな
いべーよう。

えー人一本の木が大きくなるのに。年数が
かかりますから。竹の場合には。毎年々々生

元人を人ノ二年から三年に固くざり人様のた
めに役にたたせられます。外に利益は、いっ
ぱいありますヨ。みなさんも考えん下さい。
し

森の中心は、竹は便か、やすい。金人が竹を
作くっ人おります。切った竹が古くなっ人。
腐りますネ。これは森の中の外う木の肥料
となります。えし人私り日々の生活の火をお
こす「薪」^シとなります。

私の欲を、うならば、もうすこし竹が腐ら
ないで表が持ちし人ほしいですネ。

えし人私が大切にしている木を破壊切しま
くると、人間、金人の生を物は滅^{ほろ}びます。

下界の大人は、己の利益のためになる事が
どうもとっしかな人々の「心」まで平気心
傷つける位。己の「消い」欲望を先行させる
ほどの、未完成な人間に育んあげられ人。
ノんし人ノこのようが未完成な人間に寝^いられ
人育った子どもは、どのような心をもった人
間となるか。現在の社会を見んわかりんある

う！

どんなに権力の地位を手に入れんも！

どんなに知識経験者としてまっぴり上げられた

者じゃあ、人も、どんなに大企業の社長になら

れた方じゃあ、

人間らしく頼られん、尊んられん、いな、限

をり、貧困者に対し、心ある聴く耳をもち、

支援し、いのちを、豊かな社会は望めな、いであろ

う！

どうして、現在のようにな、心なき、乱れた

社会になつたのか、欲を先行させなつて、

見栄を、はらさず、全人の汚れた場所、自か

ら足を運び、現場を体感する政治家と国民の連

携、グレイを、実行すると、を、必ず、

「仙人諸録」一人の貧困者を救う事もお束

ない公務員が、どうして国民より、豊かな生

活をするか！

また、予談が過ぎたかなッ、ご免！

さ、一人、夜、部屋を、建、場所から、三分位

の所に、私、大娘、竹、天高くの、び、育、人

いた。

この竹の育ち方は、人間の子どもへの手本になるべしやう。

しかしナ、こり竹藪から部屋やまの所まで運ぶのは大変作業になるぞ、とにかく今日の必要な竹だけを切らせんいただこう、夜の小屋だから、小さな竹が良いぞ、とりあえず十本位で良いわあやう。

へんは竹ちゃん切らせんもらいます。こり切った竹は、子どもでも、人様に役に立つように使かせん、もらうからネ、竹ちゃん安心しん！

私は竹を切る時に、竹に向かっん、話をまするのですね！

エッ、仙人っん、変わったん、なるっん、ですか、いえ、いえ、こり会話こそが、人との会話の土台となるのですね！

私のように森の中心なくんも、独り淋しい思いをしん、部屋の中で独りでいん外に出たいのだが、いま、ち体が動かない、ときをい

ある時は、慰いかり、ある時は、引かえ目の
 声で、あなたの方、まわりに、いつも置い入る
 物に向かつて、君はいつも元の場所にいるけ
 ど、元れど、いつか、いつか、時は、場所を、変え
 る、主人さま、と、くす、ア、
 え、う、かい、元れは、清まな、かつた、ナ、僕、だ、つ
 り、同じ、所、心、は、あ、を、ろ、から、ナ、これ、から、随
 時、お、を、か、え、る、から、ナ、
 と、い、う、ま、う、に、君、の、心、の、中、に、置、き、物、の、心
 が、入、る、人、を、人、会、話、が、心、を、る、の、で、す、

人と人との会話の訓練になり、元し人外に
 出る勇氣が、おんをん、では誰か、と、合、つ、ん、話
 し、を、い、ま、う、の、心、が、動、き、人、と、お、合、つ、ん、会
 話、する、事、が、こ、ん、に、素、晴、ら、し、い、こ、し、を、実、感
 する、こ、し、に、熱、氣、が、さ、る、の、心、す、元、

「仙人語録!! 出会いは人生の宝身」
 このまうに、一寸した工夫の「一人芝居」
 の演技力で、本物の人生会話の技、人生の小
 道具が完成するのでござる、ゾッ
 「仙人語録!! 実践作家の仙人に癒やし」

えーッ、なんですか！

仙人は、すぐ横道に逸もれ入る！ 何にかを書きたがるっ！

まあ、良いわかったんござる事！

えーじや、私は実践体感を！ 山位し入るから、みんなに伝えたのじや、もう後の命が保証されんないのじや、我慢し入下され！
信トん聴く耳をもんば、救われる、という事んござるかな！ ホホホホ！

さん、さん、長さが十メートル位の竹を！

部屋をつくる場所まで運んべこさ。

ここから、一ぱうくお世話になる部屋つくりに入るのべある！

明るいの内に作りこむべしやいかんナ！

なんとカタチまでに仮の部屋が完成したようじや、気が、緩ゆるんだのか、いや、いつも、満腹に食事は、しんないから、すぐに、何にかを食べたくなるのだ！

近くにコンビニがあったナ、今夜の食事にするパンを買っ入くるか！

をあれこれと決めたら、早く行かないと、暗
くだったんだったら、部屋の中心の作業がやりつ
らくなるから！

三十分近くかけて森へ戻って来て、一〇〇
円のパン三個買う人あたりで、この新しい森
での初め人の夜り食事もある！

今までの事を思い出して、テンションが上がり
心が浮きまくっている！

部屋の広さは畳二枚ぐらいであり、今回の
場合は、地面に直接作った。

その小さな部屋にローソクを点して、下界の
部屋では、とても体験がぶよぶよ、未知の空
間で、私は、まず、こんな事を誓います。

初め人をたたくの目的がある、
道をの修行
を通う人、己の煩悩を少し心も柳削する修
行と、人間として人の心のあり方！

これ、人社会の下界、の人たちと、体験部屋
作りを行う、語り合いの出来る体験村を
実行させたいだけです。